

いま!この一冊!



『アメリカの中学生が学んでいる』 Y209/7

14歳からの世界史

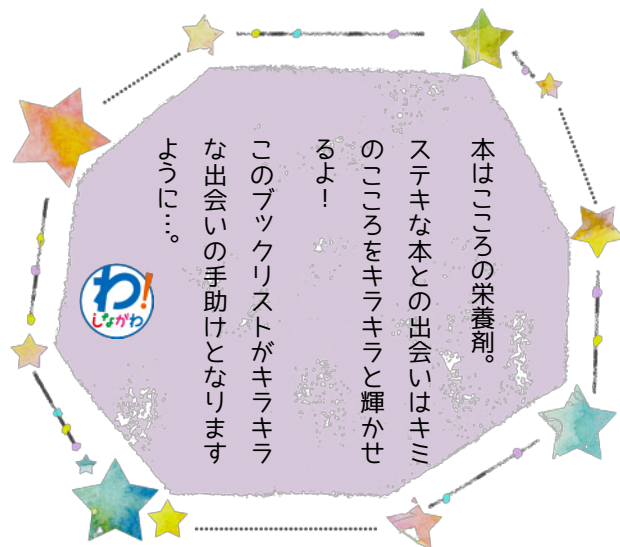
ワークマン・アブリッソング / 著

千葉敏生 / 訳 ダイアモンド社

最近のニュースは、^{かんざようおせん}環境汚染や^{ちいきふんそう}地域紛争といった諸問題が国際レベルで報道されています。そんなニュースを耳にしたとき、その地域の歴史を知っておくと、問題の根源が明確に理解でき、その問題に対する関心も深まっていきます。

この本はアメリカの中学生が学んでいる世界史の内容をわかりやすくまとめた一冊です。本文はノートのページのようにデザインされ、大切な用語は太字で記されているなど、パッと見ただけで重要な部分もわかります。

最古の人類から第二次世界大戦の世界まで、幅広い世界史について網羅されているため、実際に学習したいと思っているティーンズのみなさんにおすすめです。もう一度しっかりと勉強し直したいという方もぜひ手に取ってみてください。



図書館おすすめブックリスト



キラ
キミのこころに☆めぎを...

中学生

キンダートランスポートの少女の物語



『アンナの戦争』

ルン・ピーターズ / 著

尾崎愛子 / 訳

Y933/ヒ

小学6年生のダニエルは、アンナおばあちゃんに戦争のころの話をたずねる。おばあちゃんは、ヨーロッパ各国の家庭がユダヤ人の子どもを受け入れたキンダートランスポートでイギリスに避難したという。ドイツからイギリスへ行く列車で、見ず知らずの若いお母さんからかごに入れられた赤ちゃんを預かったり、イギリスの田舎の農場で、ドイツのスパイと遭遇したり...

壮絶な人生を歩んだアンナおばあちゃんの話にハラハラドキドキさせられる物語です。最後に、ダニエルがおばあちゃんに贈るプレゼントにスーッと涙が出るかも。

2023年冬号

編集・発行：五反田図書館

ぎゅうけつれいじょう
『ホラー・クリップ-吸血令嬢カーミラ』 Y933/キ

ジョゼフ・シリアン・レ・ファン他/原案 令丈ヒロ子/文 ポプラ社



ぎゅうけつれいじょう
吸血鬼小説の古典ともいわれる『カーミラ』と人狼をテーマにした最古の物語『美しい人狼』。児童文学作家・令丈ヒロ子の手によって現代によみがえりました。美しさにまどわされた人間の恐怖をゆっくりと味わえる名作です。ホラーがすぎな人におすすめです。

つばさ
『翼をもたない私たちは、それでも空を飛びたかった。』 Y913/ツ

山下君子、麻希一樹、橘つばさ/著 orie/絵 Gakken



じしょう
自傷行為、ヤングケアラー、不登校…さまざまな問題に直面する3人のティーンズたち。それぞれがそれぞれの問題を乗り越えて、前を向いて歩いていく3つの物語がひとつにまとまっています。重たいテーマではありますが、考えさせられるストーリーです。ぜひ手に取ってみてください。

『あたしの心のきらめき』 Y933/ト

シャロ・M・ドレバー/作 横山和江/訳 すずぎ出版



脳性まひが原因で、うまれた時から言葉を話すことも体を動かすこともできない14才。会話補助装置「ILUアイル」を使い、日々何とか生きてきました。

今回は、水泳、乗馬、ダンスに、キャンプファイヤー等々、様々な体験ができるというキャンプに参加し、これまで経験したことのないひとときを経験します。前作『あたしの心のなか』とあわせてぜひ！

『いつものところで ワタシゴト14歳のひろしま・3』

中澤晶子/作 ささめやゆき/絵 汐文社 Y913/ナ



広島を訪れる修学旅行生が主人公の3部作「ワタシゴト14歳のひろしま」の完結編です。修学旅行から帰ってきた14歳のティーンズたちが「いつものところ＝日常」へ戻ってきた後、被爆体験をどのように継承していくか、それぞれの表現で伝えていく方法を考えていきます。前作『ワタシゴト』『あなたがいたところ』とあわせて、ヒロシマについて見つめてみましょう。

『ぼくらは星を見つけた』 Y913/ト

戸森しるこ/著 講談社



おか
丘の上の青い屋根のお屋敷で「家族」として住んでいる主人のそら、10歳の星、ハウスキーパーのシド、ネコのダリア。そこに「住みこみの家庭教師」の募集を見て岬くんがやってきます。岬くんは「家族」として迎え入れられ、あたたかい日々を過ごしていきますが、この「家族」にはひみつがあったのです。

『かわらばん屋の娘』 Y913/モ

森川成美/著 伊野孝行/画 くもん出版



文久元(1861)年、13歳の吟は父の稼業・かわらばん屋の手伝いをしていました。政治や世の中についてを書くことが禁止されていた当時、この仕事はまともな仕事ではありませんでした。しかし、吟はある事件を通して読者に「正しい情報」を伝えるため立ち向かっていきますが…。

『希望のひとしずく』 Y933/カ

キース・カブレレ/著 代田亜香子/訳 理論社



オハイオ州の小さな町にある願いをかなえてくれる井戸。中1のライアンは、仲間とともにその井戸を見つけ、町中の人たちのさまざまな願いごとを知ってしまいます。町に暮らす人達が少しずつ関わり合いながら変わっていくストーリー。登場人物が多いので、じっくりと読みたい一冊です。

『川滝少年のスケッチブック』 Y913/コ

小手鞠るい/作 川瀧喜正/絵 KODANSHA



父の残した戦争の記録をもとに、小手鞠るい氏が創作した祖父と孫の物語です。戦前から戦中、そして戦後までの絵日記がそのまま掲載され、その当時の懐かしい時代背景も味わうことができます。当時を生きた少年のスケッチブックから、これまで見知りすることのなかった戦時下のリアルを見つけることができるかもしれません。

『夜空にひらく』 Y913/リ

いとうみく/著 アリス館



暴力事件を起こしたとして試験観察処分となった鳴海円人、17歳。花火の製造所である煙火店を経営する深見静一宅へ補導委託先として訪れます。そこには、深見と深見の母まち子のほか、住み込みで働く双子の健と康も。同じ屋根の下でともに暮らすうちに、円人は自分自身を見つめ直しはじめ…。